

令和7年度 第1回 富田林市立公民館運営審議会 議事録（要約）

- 日 時 : 令和7年7月24日（木）午後1時30分から午後3時00分
- 場 所 : 中央公民館 1階 講座室
- 出席者 : (順不同)

運営審議会委員：【委員】中島委員長（家庭教育関係者）、堂之本委員（大阪工業大学 特任教授）、
上田委員（大阪府立富田林高等学校長）、小田桐委員（富田林市立小中学校長会）、
杏中委員（富田林市青少年指導員連絡協議会）、湯口委員（公民館活動者）、
用木委員（公民館活動者）、藤井委員（公民館活動者）

欠席：中道委員（大阪大谷大学教授）

教育委員会事務局：植野教育長、尾崎生涯学習部長、大前公民館長、葉山公民館長代理（司会）、
林公民館主幹 新海公民館主査（傍聴者：無し）

開会

1. 教育長あいさつ

教 育 長）・日頃のお礼 ・地球温暖化による異常な暑さ ・空調機の改修並びに不調によるお詫
び ・本日の貴重なご意見等を本市の公民館に活かして参りたい。

2. 公民館運営審議会委員紹介・職員紹介（新委員を2人含む）

事 務 局）・委員（自己紹介） ・職員の紹介

3. 委員長あいさつ

暑い日がずっと続いている。毎年この時期になると、「涼しい北海道に行って過ごしてみたいな」と思うことがあるが、今年は様子が違っている。北海道北見市では、本日の気温が40度を越える予想であるとか、北海道内の多くの小中高等学校では、臨時休校や下校時刻を繰り上げるというニュースで伝えられている。大阪でも、熱中症で搬送される方が増え、「生命にかかわる危険な暑さ」という言葉を何度も聞くようになった。こんな猛暑にもかかわらず、大阪・関西万博の会場には、連日多くの方が訪れている。富田林市公民館でも、大阪関西万博に関連した講座が開催されたし、本日ご出席の委員や事務局の皆さまの中にも、すでに行かれた方はおられると思う。テレビの朝の番組では、会場の様子を映す映像とともに、その日の混雑予想や催し物の紹介などが行われている。富田林市も、様々な催し物に関わり、例えば、「春の大阪ウィーク」では、川面町をはじめ、府内各地のだんじりなど40台が万博会場で披露され、明日から始まる「夏の大阪ウィーク」では、ギネス世界記録に挑戦する盆踊りに参加されるということである。

【議 事】

4. 令和6年度公民館事業・活動報告に関する説明（3館順番に）

○中央公民館

●はじめに

新型コロナウイルスの世界的な流行から早や4年以上が経ち、私たちの日常生活も通常通りになったが、地震や豪雨などの自然災害は各地で発生している。世界では戦争が収まらない国もあり、平和な日本に生まれ育ったことと毎日の生活を平穩に過ごせることに感謝しなければならない。公民館事業はコロナ前に戻ってきた。前年度もたくさんの公民館主催の講座やイベントを実施し、多くの参加者から喜びの声をいただいている。公民館まつりでも、ポップコーンや綿菓子、ジュースなどの飲食物が販売され、また、各クラブからの発表会や展示があり、日頃の練習の成果を出した内容であった。

●活動報告書の説明

2ページから17ページまでは、当館で令和6年度に実施しました講座・イベントについて、公民館だよりで振り返りとなっている。19ページから22ページまでは施設利用状況で19ページに過去5年間の利用状況の比較図、20ページから22ページは、各館の施設利用統計になっている。24ページから47ページは、各館の事業実績報告。事業一覧、次に個々の事業評価、アンケートを掲載し、24ページから36ページが中央公民館、37ページから42ページが東公民館、43ページから47ページが金剛公民館となっている。48ページは学級講座の校区・年代別の統計、49ページから50ページは事業別の年代表、51ページは、各館におけるロビー展示の実績となっている。53ページから61ページまでは、公民館運営審議会の委員の皆様の一覧および昨年度の審議会開催状況、その他の資料となっている。

●活動報告について

□令和6年度は大きいイベント事業を4つ行った。

- 1 憲法月間では、ふるさと富田林応援団アンバサダーであり、俳優の谷ノ上朋美さんによるひとり芝居を実施した。沖縄で生まれ育った祖母が戦争の襲撃を受けながらも生き延びて戦争の悲惨さと命の大切さを訴える実話を基にしたものである。
- 2 日本の三大話芸である落語と浪曲を実施した。初めて見るという方も多く、日本の伝統芸能に直に触れることができた。
- 3 「懐かしのフォークソング」では、生バンドと一緒に青春時代に流行った歌を参加者と歌った。
- 4 人形劇のクラブと共催して、夏休み最後の日曜日に人形劇を実施した。就学前のこどもたちの参加も多く、若い世代が公民館に足を運ぶきっかけとなった。

□令和6年度の特徴として、シリーズ化した講座が2つあった。

「延ばそう健康寿命」シリーズでは、『ノルディックウォークと笑いヨガ』『歌体操』『ピラティス』『女性のための健康麻雀』を行った。『ノルディックウォークと笑いヨガ』『ピラティス』は自主グループが結成され、今もサークル活動として定期的に活動している。

「日本の踊りシリーズ」で『阿波踊り』『よさこいソーラン』『エイサーとカチャーシー』を実施した。3つすべての講座に参加された方がいた。

□令和5年度の本審議会での提案事項を基に寺内町に関係した講座を開いたらどうか」というアドバイ

スを受け、『英語で寺内町を案内しよう』という講座を開催した。

□大阪南医療センターとの医療連携講座

「健康・医療講演会」を2回実施し、普段は、医師からの話を直接聞く機会がない方にとって好評であった。

□大阪・関西万博関連講座

万博開催前に、万博を100%楽しんでもらうための『大阪・関西万博で世界一周旅行へ出かけよう』を開講した。

□ミニ発表会を実施

『憧れの映画、ミュージカル、オペラを歌おう』や『落語』は最終日にはミニ発表会を実施し、その様子を公民館のYouTubeチャンネルにアップすると、視聴回数が一気に増えた。5人の方が既存の落語クラブに入会された。

○東公民館

●施設の利用状況

19ページより、昨年度の利用者数は、15,450人、利用件数は、1,386件

21ページより 部屋別、団体別の利用者数及び利用件数

利用件数は順調に伸びているが、利用者数は前年度より減となっている。この理由としては、公民館まつりの日と大伴小学校の防災講習とが同日に行われたことにより、公民館まつりに人数が集まらなかったためと思われる。

●各種講座の実施状況

□「スマホアプリの活用術」

スマートフォンの便利なアプリの活用方法についての講座を、用途別に分けて3回開催した。まず、基本的なアプリの取り方、そして旅行やお出かけの際に役立つアプリについて、3回目では、写真や動画付きの年賀状を作る方法について学んだ。

□「はじめてのカリンバ」

カリンバは、指で弦を弾いて美しい音を奏でるアフリカの伝統的な楽器で、カリンバの弾き方を、基礎から学ぶ全10回の講座を行った。参加者全員が初心者ばかりであったが、続けていきたいという声が出て、サークルが立ち上がり現在も活動している。

□「インド舞踊に魅せられて～私のインド滞在記～」

東公民館クラブ連絡会との共催で「人権講演会」を開催した。令和6年度は、南インド古典舞踊家の松下陽子さんを迎えて講演会を実施した。インドの風習や文化についてのお話があり、インドの文化に触れることができた。

□公民館まつりと納涼の夕べ

オープニングイベントとして、大阪芸術大学の生徒による、「ゲイダイガーショー」に始まり、各クラブによる演奏、踊りなどの舞台発表、展示や模擬店などを実施した。7月後半には、子連れやこどもたちにとって人気のイベント「納涼の夕べ」を開催した。超新星スバルファイブによるショーやスーパーボールすくい、わなげ、ヨーヨーすくいなどこどもが喜ぶ夜店を設けて、大いに楽しんだ。7年度については、東公民館の空調の故障により、開催中止となった。

○金剛公民館

●施設利用状況および事業実施状況

19 ページ 利用者数は、延べ 27,471 人で、令和 5 年度より 3,950 人の減。利用件数は令和 5 年度 2,608 件から 2,123 件と 485 件の減となった。原因としては、空調機器の故障と改修工事による 2 回の休館が影響していると考えられる。

●施設利用の内訳

22 ページ 講座等公民館主催事業が、令和 6 年度は 106 件、1,983 人と前年度と比較して、1,898 人、公民館クラブ関係が、令和 6 年度は 1,379 件 19,740 人と前年度より 321 件、1,443 人の減となっている。その他の団体等一般利用も前年度と比較し、609 人の減となっている。各部屋の稼働率を前年度と比較したところ、全部屋において、ほぼ均一に減少している。これも夏期の空調故障と冬期に行った改修工事が大きく影響していると思われる。

●活動報告

令和 6 年度は夏期と冬期に空調故障に伴い休館、夏期約一か月、冬期は約 2 か月間の休館となったが、それ以外は従来どおりに事業が実施できたように思う。令和 6 年度は 13 講座を「延べ 35 回」開講し「665 人」の受講があった。前年度と比較すると、延学習人数が 73 人ほど増加している。原因としては、休館の時期があったことにより、講座への関心が高まった事が考えられる。

●主な事業について

□家庭教育

「親子で楽しむ手形アート」

全 4 回で開催。子育て中の親子で、子育ての話をしたり、子どもと一緒にアルバムを作ったりと、お母さんのストレス解消にも繋がる講座となった。

□高齢者関係

「月一健康体操」

定員を、6 年度も 25 名で実施したが、定員に対して、約 4 倍の申込者があり、高齢期には必要な筋力と柔軟性を上昇させる体操を中心に行った。

□成人教育

南河内産の竹を使い、竹の歴史を学びながら、竹籠を編む竹細工講座を実施した。また、伝統工芸士を講師にお願いし、大阪泉州桐箆笥の技法を学び、DIY にも活用できるようにと、米びつの制作を行った。

スマホの使い方講座では、定員 20 名に対し 103 名の応募があり、スマートフォンの普及に伴う課題などを改めて認識し、生涯学習としての位置づけを考えさせられる講座となった。

□イベント・研修会等

人権週間映画会「ぼけますからよろしくお願いします」

90 代夫婦の介護をテーマにした、ドキュメンタリー映画で、高齢者介護など考えさせられる問題などを認識させてくれる内容の映画であった。

参加型イベントでもある「みんなで歌おう懐かしのフォークソング」は定員 100 名に対し 147 名の申し込みがあり、大きな声をだして歌うことが、コロナ禍での自粛を経験した方の思いを感じる講座であった。「のこぎりコンサート」は、のこぎり奏者約 10 名による演奏会で、参加者から

は初めてのノコギリの音色に感動したといった意見があった。普段では、めったに聴くことができない楽器演奏が楽しめたユニークな音楽イベントであった。

□その他、公民館まつり

例年に近い形で開催し、前年度と比較すると、199 人の増となる 2,066 人の参加があった。

□一日体験教室

3 月に実施し、16 クラブ計 27 名の参加者があった。

□夏休みの自習スペースも引き続き設置した。

○その他の活動報告について

活動報告書の 53 ページ、下の表の (2) 公民館運営審議会の開催状況については、昨年度 7 月と 3 月に開催を行った。 54 ページ、2. 研修会・研究集会参加状況では、クラブ連絡会関係では、5 月の憲法月間に合わせて、中央公民館では、ふるさと富田林応援団アンバサダー谷ノ上朋美さんによる「ゆんたくしましょね」と題したひとり芝居を行い好評であった。東公民館では、インド舞踊家の松下陽子さんを迎え、異文化から学ぶ人権の第 4 弾「インド舞踊に魅せられて～私のインド滞在記～」という講演会を開催した。 金剛公民館では、人権週間映画会として、「ぼけますからよろしくお願いします。～おかえりお母さん～」という映画を公開した。 職員研修としては、「府公連学び合い講座」が 2 月に実施され、職員が参加し、研鑽を積んだ。さらに、南河内社会教育振興協議会・公民館部会においては、2 月 13 日に「吹矢式呼吸法で安全な健康スポーツを体験しよう」と題して、藤井寺市生涯学習センターにて職員研修を実施した。

○4 に対する質疑及び意見、要望

委 員 長) 【質問】

- 1, (欠席者の把握) P31 大阪南医療センターとの医療連携講座で、欠席者が多かったのは、秋祭りと重なったためとのことであったが、秋祭りだけが理由ではないと思う。よくあるのは、申し込んだけれども何の連絡も無しに欠席することであり、講演形式では大きく影響はしないが、実技形式の講座であると影響が大きく苦勞されていると思う。欠席者の把握についてはどうしているのか。
- 2, (ロゴフォーム申請) P34 初めてのシャインカービングでは、ロゴフォームでの受付を行ったということだが、これ以外に電子申請を使ったものはあったのか。
- 3, (教材費の決定) P40 春のミニチュア粘土教室の材料費は高く人数が集まらなかったということだが、料金設定については、講師とも相談すると思うがどう決定しているのか。
- 4, (託児教室) P44 託児教室を設けた方がよかったという意見があったが、他に託児教室を設けた講座はあったのか。

事 務 局) 【回答】

- 1, 今回の医療連携の日程については、講師の都合でどうしてもこの日程になってしまった。休まれる場合必ず連絡してほしいと申し込みの際に伝えていて、当日来れない場合はこ

ちらからも連絡して確認している。

- 2, 冬の講座で「減らそう食品ロス」「シャインカービング」と二つの講座をロゴフォームで試行的に行ったが、ほとんど集まらなかった。夏の講座では、再度行ったところ、たくさんの方の申し込みがあり、講座の内容により冬は少なかったのではないかと思います。
- 3, 春の講座では、教材費は1,800円としたが、なかなか集まらなかった。今回は、講師とも相談のうえ少し安く設定できたことから数が集まった。設定については、講師側が材料を用意するため決定するというのが一般的である。
- 4, 令和6年度は、他に託児教室を設けた講座はなかった。令和7年度の講座では託児教室を設けた講座を行い、申し込まれた方も申し込みやすいとのことだったので、今後とも続けていきたいと思っている。

委員) 【意見と要望】

- ① 資料の19ページコロナ明けで利用者が増えている中、金剛公民館だけが500件4,000人減となっているが、先ほどの説明で、夏季のエアコンの修繕と冬季の改修工事により休館期間があったことがわかり納得いった。その理由をこの資料に入れておいたほうがよいのではないかと。P24から事業一覧の中について、後に出てくる担当者評価を入れてもいいのではないかと。どれくらいの人気があったのか、申込があったのかを表す目安として、申込者÷定員という数値を入れても見やすいのではないかと思います。
- ② P48(2)年代別受講者数の表について、10代の利用者が少ない。特に金剛公民館の0%についてはもう少し力を入れて欲しい。毎年見ているのでわかるのが利用者の60歳70歳代で全体の2/3、80歳代も含めると3/4にもなる。10代のこども世代が公民館を利用できるような、講座やイベントにもう少し力を入れてほしいと思う。
- ③ 南河内全体が消滅可能性自治体であり、人口も減ってくる中、予算や人員削減も予測されるため、猛暑対策も含め将来に向けての公民館としての対策や視点をもう少し盛り込んでいくべきではないかと思う。

事務局) 【②の金剛公民館の説明】金剛公民館のこども用講座については、昨年夏に予定していた講座が、エアコンの故障により出来なくなったため0%になっている。今年度の夏の講座は、昨年行う予定であった講座を再度行っている。

委員) 【意見】非常に多様な分野について多様な講座を行っていることがわかった。いろいろな学校に務めてきたので経験しているが、いつまでもたっても好奇心持っていることは大事なことであると思う。内容も確認したうえで何かあれば、またお話する。

委員) 【意見と要望】

小学校では、夏休みでは、工作や宿題があり、公民館でも昆虫クラフトなどいろいろな取り組みをしていただいているありがたいと思う。夏休み期間中、こどもたちは、一人で過ごすことが多く、やらなければならない宿題や工作があり苦労している。また、小学校には作品展というのがあり、夏休み明けに作品を提出してもらう必要があるため、工作のような取り組みはありがたい。5年後10年後に公民館を身近に利用する世代になっていく小学生にと

っても、参加することは有意義なことだと思う。そういう意味で、夏休みの最後くらいに宿題講座や工作の講座をしてもらえると、学校としても保護者も助かると思う。生活のリズムを整える意味でも、外へ出て活動し、少しでも思い出に残るような講座をやってもらえるとありがたいというのが、小学校としての意見である。

委 員 長)【質問】公民館だよりを見ていると、なぜ夏休みはこども対象の講座ばかりなのだろうと思うが、こういう声は他に無いのか。

事 務 局)【回答】普段の講座は、いろんな方にももちろん参加していただいているので、長い夏休みもあることから、夏だけは、これからもこどもを主に対象とした講座をやっていきたいと思っている。

委 員)【提言】毎回いろんな講座をしていると感心している。私の知り合いが「英語で寺内町を案内しよう」に参加しており、周囲は英語が堪能な方ばかりだったがすごく楽しかったと言っていた。今まで私自身は講座には参加したことは無いが、意識を高めて参加して行くと楽しめるのではないかと考えて聞かせてもらった。あと、読み聞かせ等で図書館に来られた方もあまり公民館には来られることはないと思うので、ついでにでも寄ってもらえるように何か図書館とのコラボも考えたらいいのではないと思う。

委 員)【意見】公民館を利用していただいている立場で参加させてもらっているが、個人的には公民館は十分利用している。こどもの利用については、以前から言われている。夏の公民館だよりを各小学校へ配布しているが、こども自身が見ていないのではないと思う。親が興味を持って見てこどもを誘って行かないとこどもも参加しにくいのではないと思う。それでなくても他に興味を持つことがありすぎてこどもを公民館へ取り込んでいくことは難しいと思う。それでも講座に参加して夏のいい思い出を作ってくれたらいいなと思う。今公民館はお年寄りの居場所づくりには十分成り立っている。私自身は、現役のときには参加することはできなかったのもので、退職してからはお世話になっている。今の形でも十分ではないかとも思う。

委 員 長)【質問】夏休み特集号を夏休み前に各学校に届け、先生がこどもたちに配布したが、こどものところで完結し保護者の手元には届かないことがあると思うが、小学校ではそれを補う手立てはないか。夏休みのお便りに一言添えていただくことは可能か。

委 員)【意見】もちろん配布してはいるのですが、この時期にいろんな施設でいろいろな行事がたくさんあり立て込んでいるため、埋もれてしまっているのが実情である。小学校でホームページに載せることは紙面上出来ないのも、公民館の方で、広報等で大々的に宣伝していただくか、配布時期を少しずらして7月の初めくらいであれば、対応できると思う。

委 員)【要望】クラブ連絡会では、金剛公民館で地域と結びついた活動をやっているが、残念なのが事業をどこで行っているのかわからないため、事業実施一覧に場所の追記をお願いしたい。

委員)【意見】クラブ連絡会として、「公民館だより」を作成するにあたり、本当はいろんな意味で参画していきたいと思っているが、今までは、なかなか出来ていない。もう少し内容を把握できるよう自分たちも頑張っていきたい。

5. 令和7年度公民館夏以降の事業に関する説明

○中央公民館

中央公民館では8つの講座を実施する予定となっている。特徴的なのが3人のふるさと富田林応援団アンバサダーに講師を依頼している。「日本の大道芸其之貳：皿回し」については、日本の大道芸シリーズにしている。春の講座では南京玉すだれを実施し、定員を超える申し込みがあった。講座終了後も有志で残って練習をしようとなり、自主グループが結成された。去年も好評だった「石川の水の生き物探検隊」は、今年は東公民館主催で実施することになった。「みんなで踊ろう！しゅわしゅわ デフリンピック」について、デフリンピックとは、耳の聞こえないアスリート（デフアスリート）を対象とした国際総合スポーツ競技大会である。4年に1度開催され、オリンピックと同様のルールが適用される。今年、日本で初めて東京で11月15日から26日に開催される予定となっている。講師には当公民館に団体登録している「手話講師団」の方をお願いしている。

○東公民館

4講座を開催する予定である。01「石川の水の生きもの探検隊」では、夏休みに毎年恒例となっている富田林市を流れる石川に入って、水の生きものを捕まえて観察しようという講座である。02「被災地から学ぶ災害時の備え」の講座では、もしもの時に備えて、防災の基礎知識を学んで、ダンボールベッドの組み立て、アルファ米の試食体験を実際に行ってもらおう。03「ガーネット探しと天然石の万華鏡づくり」では、鉱物の楽しいお話と天然石のガーネットで、きれいな万華鏡を作る講座となっている。04「中国茶講座～美味しい中国緑茶を淹れてみませんか～」中国緑茶についてのお話と美味しい入れ方を学ぶ講座である。毎年恒例の夏の行事「納涼の夕べ」は、エアコンの故障のため、今年度は中止となった。

○金剛公民館

金-01の「昆虫クラフト・段ボールの秘密と段ボール10倍の大きさの昆虫作ろう」は、段ボールを使って巨大なクワガタやカブトムシをつくる作業を通じて、段ボールの歴史や活用方法などを学ぶ講座となっている。続いて、金-02の「チリメンモンスターをさがそう」は、おじゃこと一緒に取れる海の生き物を探して標本づくりを行い、海の生き物について学ぶ講座である。続いて、金-03の「けん玉にチャレンジ」は、日本けん玉協会の指導者に、昔懐かしいけん玉で集中力をアップし、子供から大人まで、また初心者から経験者まで楽しんでもらえる講座を企画している。最後に、金-04に記載の「公民館クラブこども体験教室」について、今年度は6クラブで募集して、金剛公民館クラブの皆さんにご協力をお願いし、こどもたちにクラブ体験を実施している。また、今年度も夏休み自習スペースを7/23から設置している。

委 員 長) 夏の講座も含め7年度の講座については、既に終了している講座もあるが、それについては次回の会議でお話いただけると思うので、よろしくお願いします。他に、ご意見ご質問は無いようなのでこれで終了する。

6. 閉 会

委 員 長) ・本日のお礼

事 務 局) ・本日のお礼 ・(お知らせ) 11月28日に京都府福知山市で「近畿公民館大会」

以上